

# 中学地理プリント（過去問類似）

## 南アメリカ・オセアニア州

名前

得点

/8

**問1** オーストラリアでは、1970年代までヨーロッパ系の白人以外の移民を制限する政策がとられていました。その後、この政策を廃止して多様な民族が共存する社会へと移行した背景や目的を説明した文として、最も適切なものを選びなさい。（2015年 佐賀公立

入試 類似）

1. 地理的に近いアジア諸国との経済的な結びつきを重視し、多様な人々を受け入れることで国を活性化させるため。
2. イギリスとの伝統的な関係をより強固にするために、ヨーロッパ系住民の割合をさらに増やす必要があったため。
3. 人口過密を解消するために、先住民であるアボリジニーを海外の島々へ移住させる政策を優先したため。
4. 資源の枯渇を防ぐために、国内の消費を抑える目的で全ての国からの移民を完全に禁止することにしたため。

**問2** カナダ、ブラジル、アルゼンチンの3カ国の農業統計を比較した際、アルゼンチンに見られる特徴として、広大な草原地帯である「パンパ」の存在が大きく影響しています。この地域に関する記述として正しいものを選びなさい。（2025年 兵庫公立入試 類似）

1. アマゾン川流域の熱帯雨林（セルバ）を切り拓いて作られた、世界最大のコーヒー豆栽培地である。
2. 寒冷な気候のため農作物の栽培には適さないが、地下資源が豊富で鉱工業が中心となっている。
3. 温帯の広大な草原を活用し、古くから小麦の栽培や牛肉の生産が盛んで、世界への輸出拠点となっている。
4. ブラジル高原の赤土（テラローシャ）を利用し、近現代に入ってから大豆の生産量が急増した地域である。

**問3** オーストラリアの貿易統計において、輸出額の推移をみると、20世紀半ばまでは農産物が中心でしたが、現在は特定の資源が輸出の大部分を占めています。その資源の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2021年 岐阜公立入試 類似）

1. 鉄鉱石・石炭
2. 石油・天然ガス
3. 羊毛・小麦
4. 銅鉱・アルミニウム

**問4** ある地点の年間を通じた気温の変化を調べたところ、7月頃に最も気温が低くなり、1月頃に最も気温が高くなるという北半球とは逆の傾向が見られました。このような季節の変化が見られるオーストラリアの地理的条件として適切なものを選びなさい。（2019年 愛知公立入試 類似）

1. 東経135度の標準時子午線が通っていること
2. 赤道よりも南側の南半球に位置していること
3. 日本のほぼ真南に位置しており、時差が少ないこと
4. 周囲を太平洋とインド洋に囲まれた島国であること

**問5** 1975年から2015年までのブラジルからの輸入総額の推移について、5年ごとの統計値を比較した際の特徴として正しいものはどれですか。（2021年 北海道公立入試 類似）

1. 5年前と比較して輸入総額が増加したのは、期間中に4度である。
2. 5年前と比較して輸入総額が減少したのは、期間中に3度である。
3. 輸入総額が最も多い年の金額は、1990年の輸入総額の3倍に達している。
4. 輸入総額が最も少ない年の金額は、2005年の輸入総額の半分以下である。

**問6** 南アメリカ大陸の北部、赤道付近を流れる河川のうち、支流を含めた水の集まる範囲である流域面積が世界最大である河川として正しいものはどれですか。（2016年 長崎県公立入試 類似）

1. アマゾン川
2. ナイル川
3. ミシシッピ川
4. ライン川

**問7** 日本の東京を通る経線と、世界の大陸の位置関係について述べた文として、正しいものはどれですか。（2022年 静岡公立入試 類似）

1. 東京を通る経線を南にたどると、南半球にあるオーストラリア大陸を通過する。
2. 東京を通る経線は、大西洋を南北に貫き、アフリカ大陸の西側に位置している。
3. 東京から真南に進むと、赤道を通過する前にユーラシア大陸の最南端に到達する。
4. 東京とオーストラリア大陸は経度が大きく異なるため、地図上では真南に位置しない。

**問8** 南アメリカ大陸のアンデス山脈周辺などの高地において、アルパカの毛を編んで作られたポンチョや、耳まで覆うことができる帽子が伝統的に着用されている理由として、最も適切なものはどれですか。（2019年 富山県公立入試 類似）

1. 標高が高く、寒さが厳しいとともに紫外線が強いため
2. 砂漠地帯で風が強く、砂ほこりが目や口に入るのを防ぐため
3. 熱帯雨林特有の激しい降雨から身を守り、湿度による体温上昇を防ぐため
4. 地中海性気候における夏季の乾燥した強い日差しを遮るため

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 地理的に近いアジア諸国との経済的な結びつきを重視し、多様な人々を受け入れることで国を活性化させるため。	オーストラリアが「白豪主義」を廃止した背景には、地理的に近いアジア諸国との経済交流を深める必要性が高まったことや、労働力を確保して国を発展させるために、多様なバックグラウンドを持つ移民を受け入れる方針へ転換したことがあります。これにより、現在はアジア系移民も多く、多文化社会として互いの文化を尊重する仕組みが整えられています。
問2	<b>答え 3</b> 温帯の広大な草原を活用し、古くから小麦の栽培や牛肉の生産が盛んで、世界への輸出拠点となっている。	アルゼンチンの農業を象徴するパンパは、カナダやブラジルといった他の農業大国と比較しても、温帯気候における大規模な穀物栽培と牧畜の両立が際立った特徴です。ブラジルが大豆（特に熱帯地域での拡大）やコーヒーに強みを持つのに対し、アルゼンチンはパンパの肥沃な土地を活かした小麦と、冷凍船の発明以降に飛躍的に輸出が伸びた牛肉の生産で知られています。選択肢にある「セルバ」はアマゾン川流域の熱帯雨林を指す用語であり、パンパとは性質が異なります。
問3	<b>答え 1</b> 鉄鉱石・石炭	オーストラリアの輸出品目は、かつてはイギリス向けの羊毛や小麦が主流でしたが、1960年代以降の日本の高度経済成長や、近年の中国の急速な工業化に伴い、鉱産資源の輸出が急増しました。現在は露天掘りなどで大規模に採掘される鉄鉱石や、発電や製鉄に利用される石炭が輸出の大きな柱となっています。
問4	<b>答え 2</b> 赤道よりも南側の南半球に位置していること	地球は地軸を傾けた状態で公転しているため、赤道を境にして北半球と南半球では季節が逆になります。オーストラリアは南半球に位置するため、日本が夏である7月頃に冬（低気温）となり、日本が冬である1月頃に夏（高気温）を迎えるという特徴的な季節変化を示します。
問5	<b>答え 1</b> 5年前と比較して輸入総額が増加したのは、期間中に4度である。	1975年から2015年までの推移において、5年前の数値と比較して輸入総額が増加したのは、1975年→80年、1985年→90年、2000年→05年、2005年→10年の合計4度です。1990年から2000年にかけては数値が減少している時期もあり、全ての調査時点で増加しているわけではない点に注意が必要です。
問6	<b>答え 1</b> アマゾン川	南アメリカ大陸を流れるこの河川は、長さではアフリカ大陸のナイル川に次ぐ世界第2位とされることが多いですが、流域面積（川に水が流れ込む範囲の面積）においては世界で最も大きな規模を持っています。熱帯の多雨地域を流れるため、膨大な水量を誇るのが特徴です。
問7	<b>答え 1</b> 東京を通る経線を南にたどると、南半球にあるオーストラリア大陸を通過する。	世界地図において、日本の東京（東経約140度）から垂直に南下する線は、オーストラリア大陸の西側を通ります。日本とオーストラリアは経度が近いこと、時差が少ないという特徴もこの位置関係に由来しています。他の選択肢にあるアフリカ大陸や北アメリカ大陸は、日本とは経度が大きく離れた場所に位置しています。
問8	<b>答え 1</b> 標高が高く、寒さが厳しいとともに紫外線が強い	アンデス山脈のような高山地域は、標高が高いために気温が低く、また空気が薄いため地表に届く紫外線が非常に強いという過酷な自然環境にあります。アルパカの毛は保温性に優れており、防寒具として非常に適しています。また、つばのついた帽子や耳まで覆う帽子を着用することで、寒さから身を守るだけでなく、強い日差し（紫外線）による肌へのダメージを防ぐ工夫がなされています。